

岐阜市緊急事態宣言 緊急対策【期間：8/20～9/12】

<現状>

- 8月以降、市内の新規感染者数は、連日10人を超え、7日からの3連休以降は、30人を超える程急増。さらに、17日には、過去最高となる1日当たり101人の感染者を公表するなど、感染爆発によってピークが見えない状況
- 10万人あたり新規感染者数（7日間移動合計）は70.17人（国の基準ステージⅣ）と過去最高値となり、これまでに岐阜市では経験したことのない危機的な状況
- 県内の病床使用率、宿泊療養施設の使用率も急上昇しており、病床使用率はステージⅣの感染爆発に近づいている。岐阜圏域の病床使用率も5割を超えており、病床がひっ迫
- 7月以降、岐阜市内で14件クラスターを確認。「飲食」「職場」「家庭」で発生。医療機関内でもクラスターが発生し、ワクチン接種済の方も感染している

上記を踏まえ、これ以上の感染拡大を何としても食い止めるため、市独自の「緊急事態宣言」を発出し、岐阜県への「まん延防止等重点措置」の実施期間である8月20日から9月12日までの間、県と連携し以下の対策を実施する。

1 市民への危機意識の醸成

- 「岐阜市緊急事態宣言」の発出 市
- 市庁舎における「嚴重警戒」ライトアップを通じた市民への警戒呼びかけ 市
※8月17日19時からライトアップを開始
- 施設の休館による人流の抑制
 - ・市施設（みんなの森 ぎふメディアコスモス、岐阜城、歴史博物館等） 市
 - ・県施設（美術館、図書館、木遊館等） 県
 ※県施設は、原則休館、利用停止とし、既に予約されている分については、中止等を要請することとし、利用される場合に当たっては、感染防止対策を徹底するよう要請する。
- 市が実施するイベント、講座の原則中止または延期 市
- 岐阜市内における県関係のスポーツ大会については原則無観客 県

2 県境をまたぐ往来対策

- 県境をまたぐ家族の帰省、出張、旅行・レジャー等の中止又は延期の徹底 県 市
- JR岐阜駅前歩行者用デッキやハートフルスクエアGにおける感染防止キャンペーンを集中的に展開 市

大垣市非常事態宣言

～「市民の生命（いのち）を守る」宣言～

1. 現状認識

- 本市では8月中旬以降、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が急増し、8月17日（火）に27人、18日（水）に45人と、過去最多を更新しています。
- また、8月以降、市内ではクラスターが2件発生したほか、「大学」「家庭」「親戚との会食」等で感染が急増し、国の「ステージ4」相当の、いわば「感染爆発状態」です。
- 西濃圏域の病床使用率も約50%となるなど、医療体制も徐々にひっ迫しています。

2. 県との連携

上記のかつてない危機的な状況を踏まえ、これ以上の感染拡大を阻止し、市民の生命（いのち）を守るため、県と連携して以下の緊急対策を実施します。

3. 緊急対策

◎期間 令和3年8月20日（金）～令和3年9月12日（日）

◎緊急対策3本柱

(1)施設の利用停止及びイベントの中止等による人流抑制

①イベント等

- ・市及び県が主催するイベントは、原則として中止または延期とする。 市・県
- ・民間が主催するイベントについても、中止または延期を要請する。 市

②市及び県有施設

- ・全ての施設において貸館を含み、原則、利用を停止する。市・県
ただし、既に予約を受け付けている分については、使用自粛を要請する。
(市施設) 福祉施設、体育施設、文化施設、地区センターなどの施設
(県施設) ソフトピアジャパン（貸館部分のみ）

③大垣城の「嚴重警戒」ライトアップを通じた市民への警戒の呼びかけ 市

(2)市民の人流抑制に結びつく広報・啓発 市・県

- ・基本的な感染防止対策の徹底（マスク着用、手指衛生、密回避、健康管理）のほか自らの、そしてご家族の「生命（いのち）を守る」という、強い行動自制、いわゆるセルフ・ロックダウン（人との接触機会減）の徹底を呼びかけ
- ・飲食店、大規模施設等への時短要請の協力の呼びかけ

(3)安全かつ円滑なワクチン接種体制の整備

- ・接種を希望する市民への円滑なワクチン接種のため、医師会等との連携体制の確保 市
- ・ワクチンの更なる安定供給について、県と連携し、国に強く要請 市・県
- ・部活動を積極的に行う大学生に対し、職域接種、あるいは大規模接種会場における積極的なワクチン接種を推進 県

新型コロナウイルス感染症 東濃5市「緊急事態」宣言

東濃地域において新型コロナウイルス感染症の新規感染者が激増しています。感染力の強いデルタ株に置き換わり、若者が重症化するリスクも増え、医療体制は極めて厳しい状況です。このまま感染増加に歯止めがかからない場合、8月中にも医療体制がひっ迫し、「救える命が救えない」状況になりかねません。

ここで、東濃5市は新型コロナウイルス感染拡大の「緊急事態」であることを宣言します。今一度、基本的な感染防止対策の継続に加え、人との接触機会を極力減らす取組を、東濃5市一丸となって徹底しましょう。

1. 市有施設の利用制限

可能な限り市有施設の利用制限に取り組む

2. 基本的な感染防止対策の継続

マスク着用や手指衛生、密回避の徹底

3. 慎重な外出や移動

不要不急の外出を避け、県境をまたぐ不要不急の移動を自粛

4. 飲食時等の感染リスクの徹底回避

飲食は短時間で。普段会わない人や職場の同僚との会食を中止

宣言の期間は、8月20日（金曜日）から9月12日（日曜日）までとします。

令和3年8月20日

多治見市長 古川雅典

中津川市長 青山節児

瑞浪市長 水野光二

恵那市長 小坂喬峰

土岐市長 加藤淳司

(市制順)

各務原市「非常事態宣言」(案)

(期間：8月20日～9月12日)

【現 状】

- ・ 8月に入り、市内の新規感染者数の増加が続き、17日には一日あたり過去最高となる33人、8月13日から19日の直近一週間においては125人と、本市がかつて経験したことのない危機的な水準に達している。
- ・ 更に、8月以降、市内で3件(家族、会食、高齢者施設)のクラスターが発生。
- ・ 県内の病床、宿泊療養施設の使用率も急上昇し、8月中にも医療崩壊の危機。

上記を踏まえ、市独自の「非常事態宣言」を発出し、岐阜県に適用されている「まん延防止等重点措置」の実施期間である8月20日から9月12日までの間、県と連携し以下の対策を実施。

「非常事態宣言」の内容

1 市民に対する更なる危機意識の醸成

○「各務原市非常事態宣言」の発出 市

[基本的な感染防止対策(マスク着用、手指衛生、密の回避、健康管理)、自ら及び家族の「生命(いのち)を守る」という強い行動自製の徹底 の呼びかけ]

2 円滑で速やかなワクチン接種の推進

○医師会・歯科医師会・薬剤師会・各医療機関、職域接種の企業等、「オールかかみがはら」による円滑で速やかなワクチン接種の推進 県 市

3 人流の大幅な抑制

○施設の休館 県 市

- ・ 県・市共管施設(岐阜かかみがはら航空宇宙博物館)
- ・ 市施設(中央図書館 その他貸館等)
- ・ 県施設(アクア・トトぎふ)

〔(新規予約停止)川崎重工ホッケースタジアム、科学技術振興センター、各務原浄化センター(屋外運動施設)〕

※原則休館、利用停止。

新規予約：受付停止 既予約：中止等を要請。利用する場合は感染防止対策徹底を要請。

○市及び県が実施するイベント及び講座の原則中止または延期 県 市

○飲食店・大規模施設等への時短要請の協力依頼 県 市

○県境をまたぐ家族の帰省、出張、旅行・レジャー等の原則中止または延期 県 市